

活動のご紹介

2013年3月31日 ふくしま再生の会
理事・事務局長 小川唯史
(於 飯坂温泉 摺上亭大鳥)

はじまり

2011年6月5日、田尾陽一氏とその知り合い15名ほどのグループが、相馬市の
大石ゆい子さんの紹介で、飯舘村の菅野宗夫さん宅を訪問。

福島第一原子力発電所の事故は、明確な人災である
原子力発電所はそもそも事故を収束させる技術を当然持っているべきである
村民が帰村して安心して農業を営み生活できる施策を打つべきである
福島だけの問題ではなく世界の問題である
得られたデータをすべて再生のために行政へ提供し提言を行う

という主張で合意。

避難中の留守宅、農地、山林などで調査と実験を行っていくことを確認。
グループは「ふくしま再生の会」として発足。

村民・専門家・ボランティアの協働による
再生への取り組みが始まった。

NPO法人設立

2012年7月「特定非営利活動法人ふくしま再生の会」発足。

目的

原発被災地の生活と産業の再生

理事会

田尾陽一	理事長	元セコム取締役
大永貴規	副理事長	(株)遊域計画代表取締役
小川唯史	理事・事務局長	(株)知識計画代表取締役
菅野宗夫	理事・福島事務所代表	飯舘村農業委員会会長
三吉 謙	理事	精神科医 三吉クリニック院長
政池 明	理事	京都大学名誉教授 元KEK教授
溝口 勝	理事	東京大学大学院農学生命科学研究科教授
横田捷宏	監事	元中小企業金融公庫副総裁 元工業技術院総務部長
宇野義雄	監事	元川崎製鉄

会員・協力機関

会員222名(3月28日現在)。このうち現地活動への参加者は1年間で50人以上。

大学・研究所の研究者、研究者OB、会社員・公務員・経営者やそのOB、医師、弁護士など、多様な職種・経歴・年齢層の人たちが参加。

東京大学「福島復興農業工学会議」・同放射性同位元素施設、高エネルギー加速器研究機構(KEK)、帯広畜産大学、東北大学飯舘惑星観測所などの、大学・研究所が協力。

運営

活動資金

(1) 会費

個人正会員10,000円／年、個人賛助会員5,000円／年
団体正会員30,000円／年、団体賛助会員15,000円／年

(2) 寄付金

(3) 助成金

三井物産環境基金の助成金(2012年から3年間)

(4) 事業委託費

モニタリングセンター事業の委託費(村および福島中央計算センターから受託)

(5) ボランティアの個人負担

活動に参加するボランティアの交通費・宿泊費・食費は本人負担が原則

活動方針

「現地」において、村民と「協働」で再生のための各種活動を行う。
「この指とまれ！」発案者が責任を持ってプロジェクトをリードする。

活動内容

放射線・放射能を測る — モニタリング

詳細な空間線量マップ作成／住居周辺の線量測定

空気に含まれる小さな塵(エアロゾル)の放射能測定／住居内の塵の放射能測定

土壌放射能測定／水の放射能測定／野生植物や山菜の放射能測定

野生動物(イノシシ)の放射能測定

生活の再生 — 放射線を減らす・避けるための各種実験

住宅除染の実験／農地除染の実験／山林除染の実験

田んぼの湛水による遮蔽の実験／水タンクによる住宅遮蔽の実験

産業の再生 — 生産再開のための基礎データ収集

稲の試験栽培／サツマイモの試験栽培

小水力発電機の設置

避難生活の健康ケア

医師による健康相談(ネットワークを活用して)

ヘルパーのサポート

世界へ情報発信 — 原発被災の実態を世界へ

海外からの留学生と村民の討論(ネットワークを活用して)

海外調査団・ジャーナリストの受け入れ(スウェーデン政府調査団など)

活動紹介 — モニタリングセンター

共通の基準で信頼できる線量データを集め、活用する

「いま」どうなっているのか、
「将来」どうなっていくのか
を知るために、

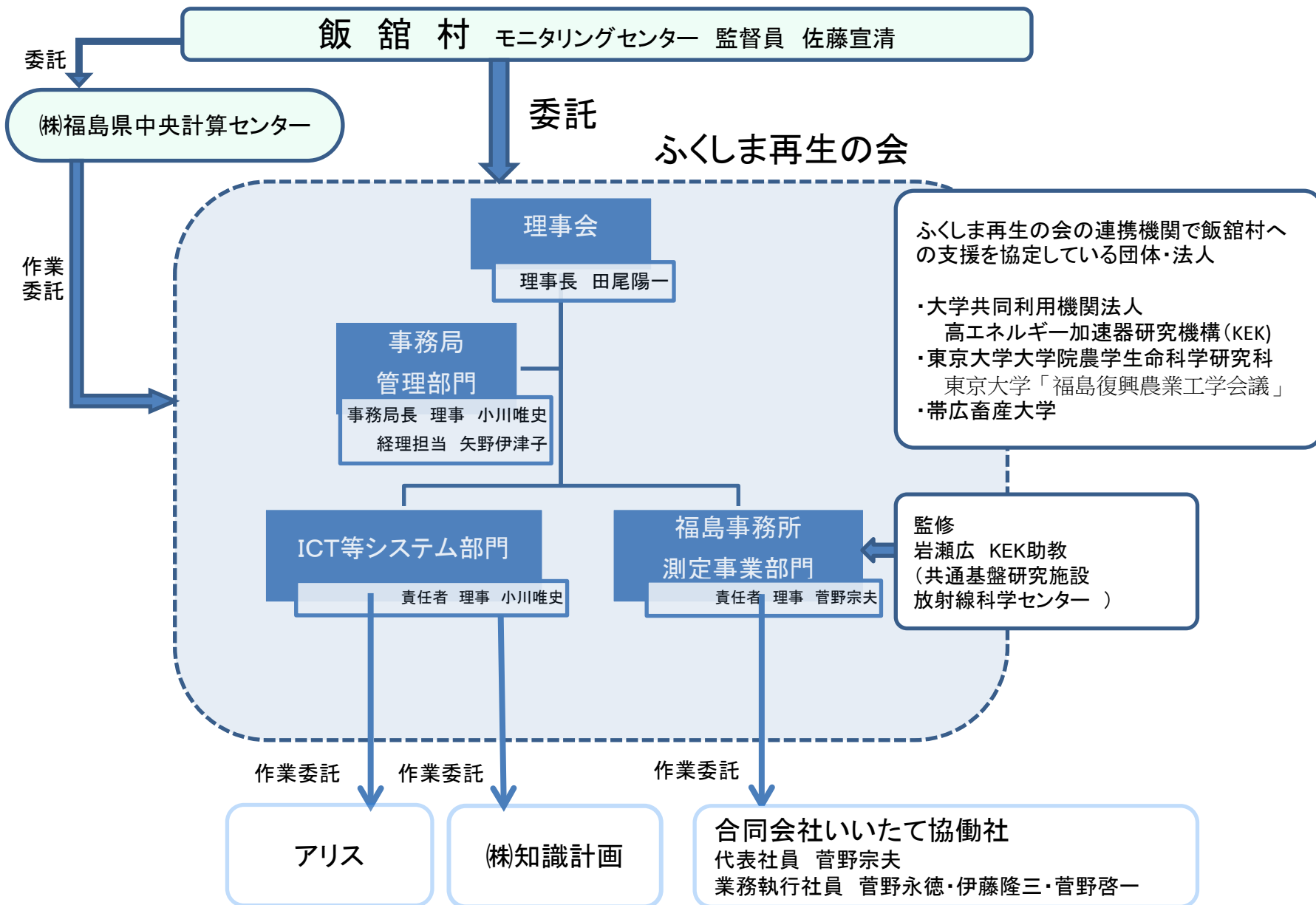
- ・村民自身が測る
- ・継続的に測る
- ・いつでもデータを見て活用できる



測定に使うGPS線量計



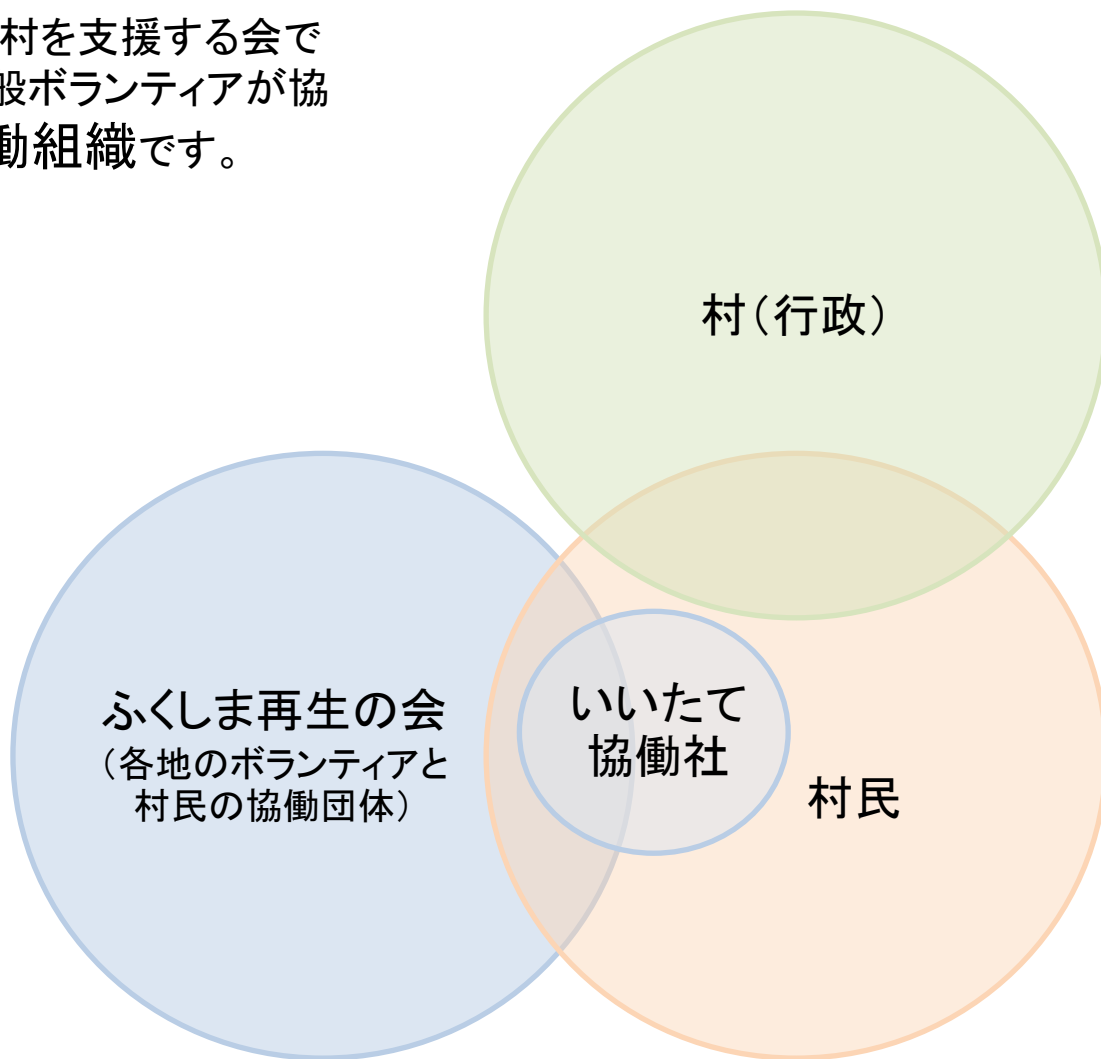
モニタリングセンターの実施体制



協働の体制

ふくしま再生の会は、東京から飯舘村を支援する会ではなく、飯舘村の村民と専門家・一般ボランティアが協働して再生への取り組みを行う協働組織です。

再生への取り組みを、村民による継続的な事業としていくために、ふくしま再生の会と村民をつなぐ役割を担うのが、
合同会社いいたて協働社
です。

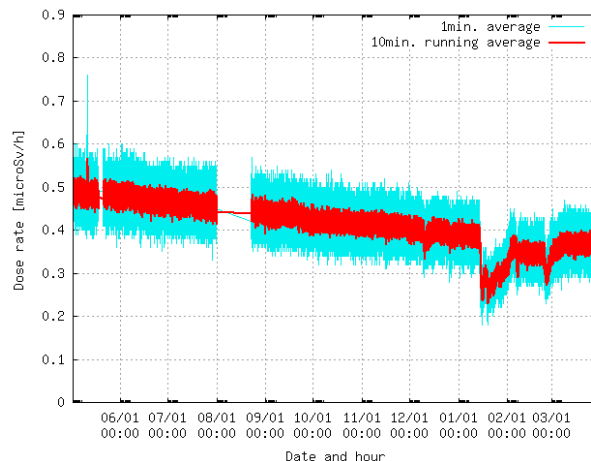


活動紹介 — モニタリング(定点観測)

同じ場所で継続的に線量を記録し変化の様子を知る



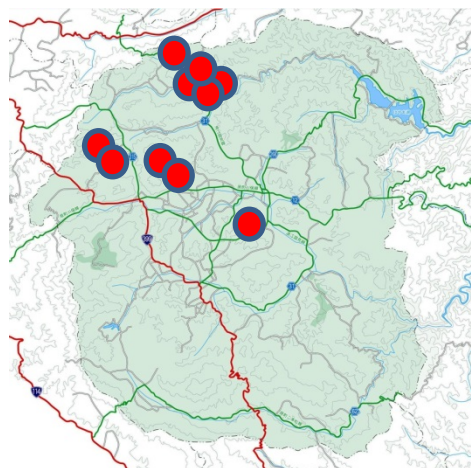
いちばん館の線量計



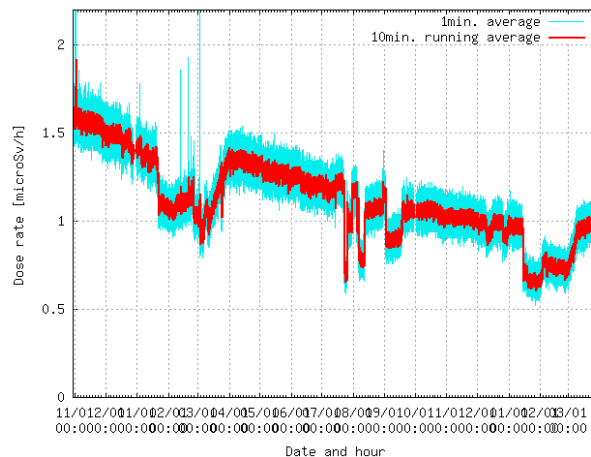
いちばん館の線量の変化



明神岳の気象計+線量計



定点観測ポイント



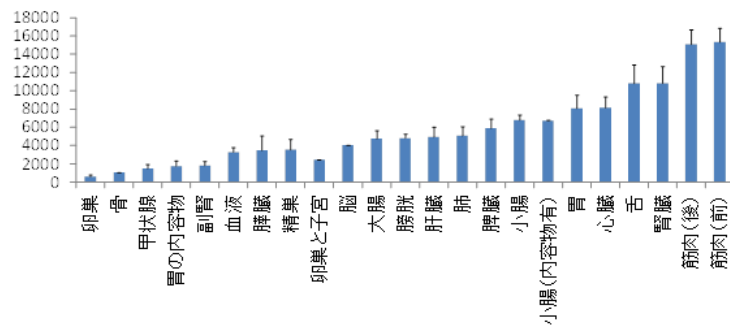
佐須の線量の変化

活動紹介 — いろいろなモニタリング

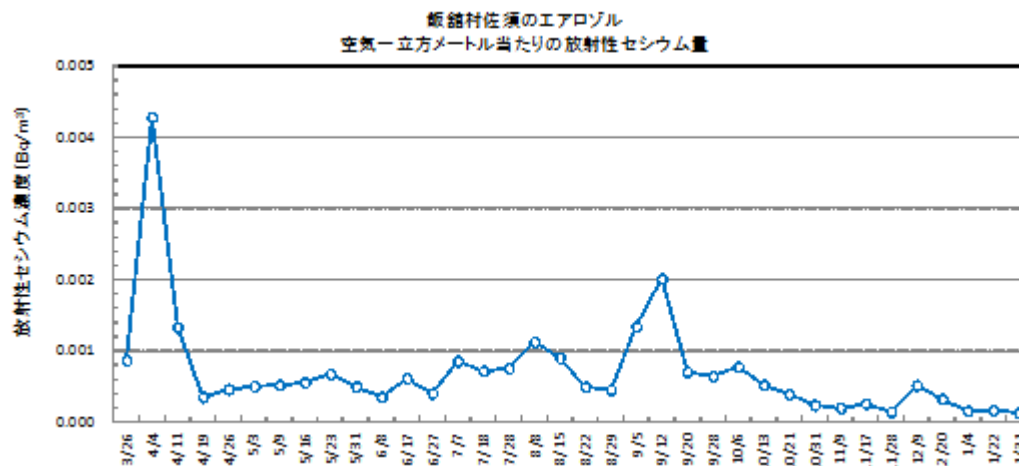
土壌放射能測定(土壌サンプルの採取)



野生動物(イノシシ)の放射能測定



空気中の塵(エアロゾル)の放射能測定

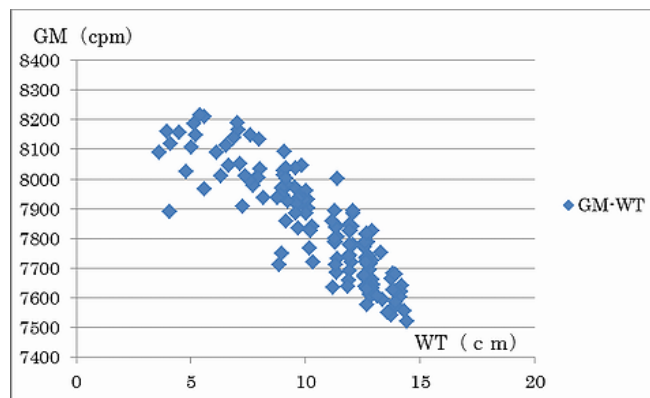


活動紹介 一 除染実験・遮蔽実験

農地除染実験



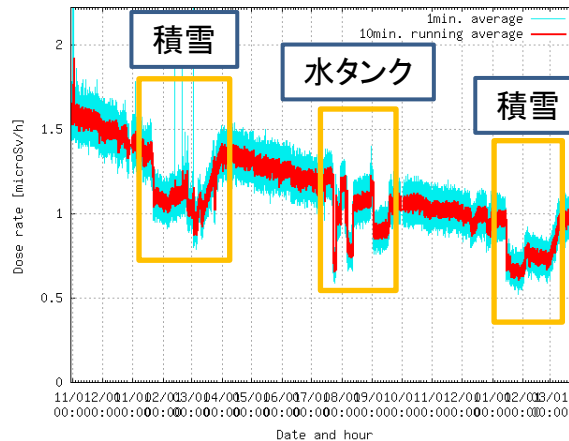
湛水遮蔽実験



山林除染実験

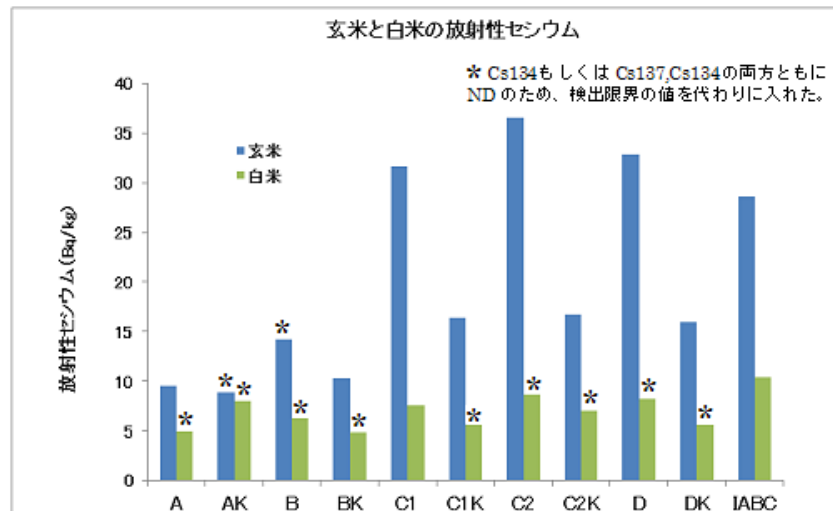


水タンク遮蔽実験



活動紹介 一 試験栽培

稲の試験栽培



サツマイモの試験栽培



測定結果(いも)

区画	肥料N-P-K	サンプル名	作成日	測定日	放射性Cs (Bq/kg)
1	3-10-10	い11	10月28日	11月8日	21(*)
2	3-10-5	い12	10月28日	11月8日	6
3	3-10-0	い13	10月28日	11月8日	9
4	3-10-10	い14	10月28日	11月8日	8
5	3-10-5	い15	10月28日	11月8日	6
6	3-10-0	い16	10月28日	11月8日	8

(*)この値のみ他のサンプルと比べて高い。サンプル作成時に土壌が混入した可能性もあります。同じ区画のいもを茹で、筆甫地区放射能対策委員会に依頼して測定したところ不検出<4Bq/kg)でした。このいもの自然放射性核種K40の放射能は、137Bq/kgでした。

活動紹介 一 健康ケア・世界へ情報発信

健康相談



留学生との対話



海外調査団の受け入れ



東京での報告会



ふくしま再生の会は、毎週末、菅野宗夫さん宅を拠点にして、
このような各種の取り組みを行っています。

ぜひお気軽にご訪問ください。